

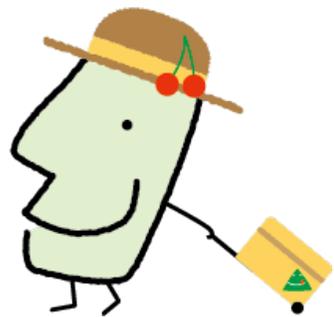
令和7年7月18日（金）

令和7年度第1回肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会

参加者（医師・事業/事務担当者）向け研修会

東京コンファレンスセンター・品川

# 山形県の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 の取り組み



きてけろくん

山形大学 医学部 内科学第二講座

芳賀弘明



はながたベニちゃん

# 山形県の地域区分と基幹病院

## 庄内地区

人口：25万3千人  
肝Co：30人

日本海総合病院

鶴岡市立荘内病院

## 最上地区

人口：6万7千人  
肝Co：28人

山形県立新庄病院

## 村山地区

人口：51万8千人  
肝Co：226人

山形県立中央病院

山形市立病院済生館

山形大学医学部附属病院

## 置賜地区

人口：19万4千人  
肝Co：22人

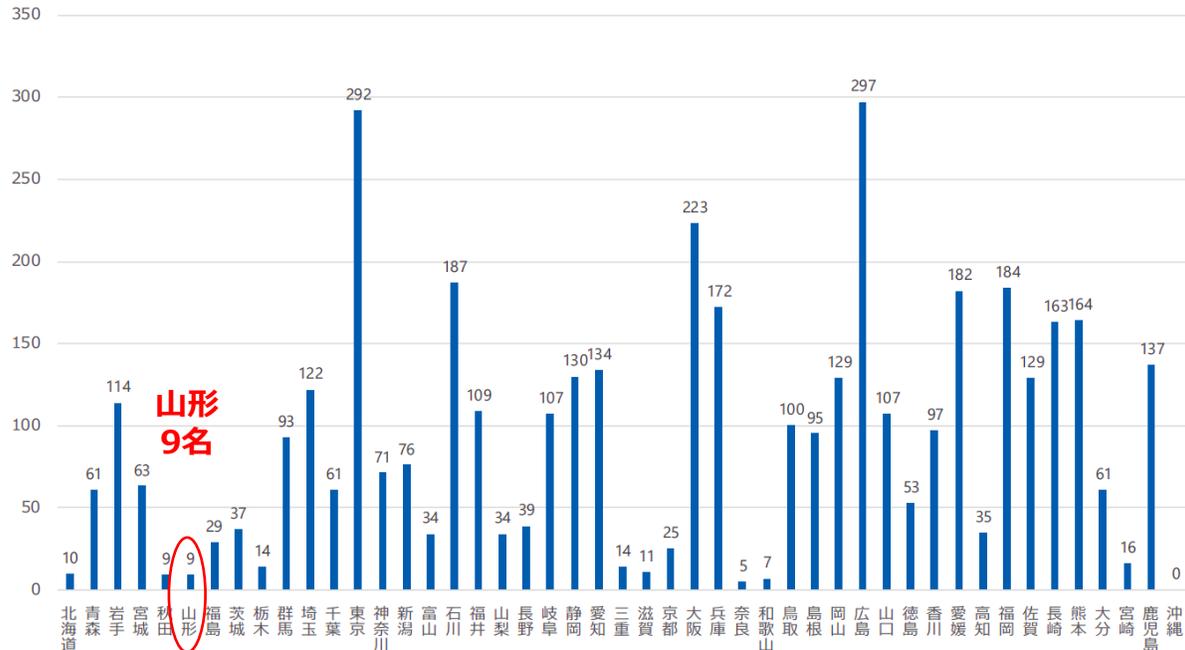
公立置賜総合病院

米沢市立病院



# 山形県の「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の認定者数

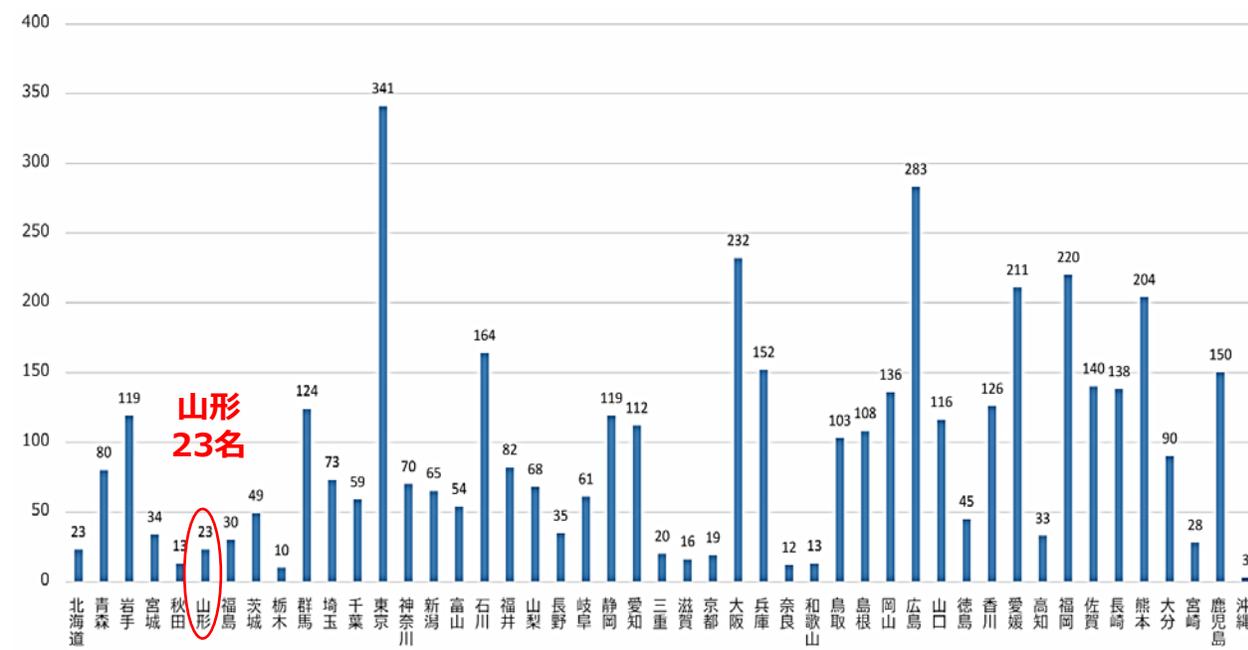
令和4年度肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の助成件数（R6.4.1.現在）



※都道府県からの実績報告を基に、令和6年4月1日現在で集計。患者から都道府県への償還請求の時期等により実績値は変動する可能性がある。

令和6年度第1回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会の資料より

令和5年度肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の助成件数（R6.9.1.現在）

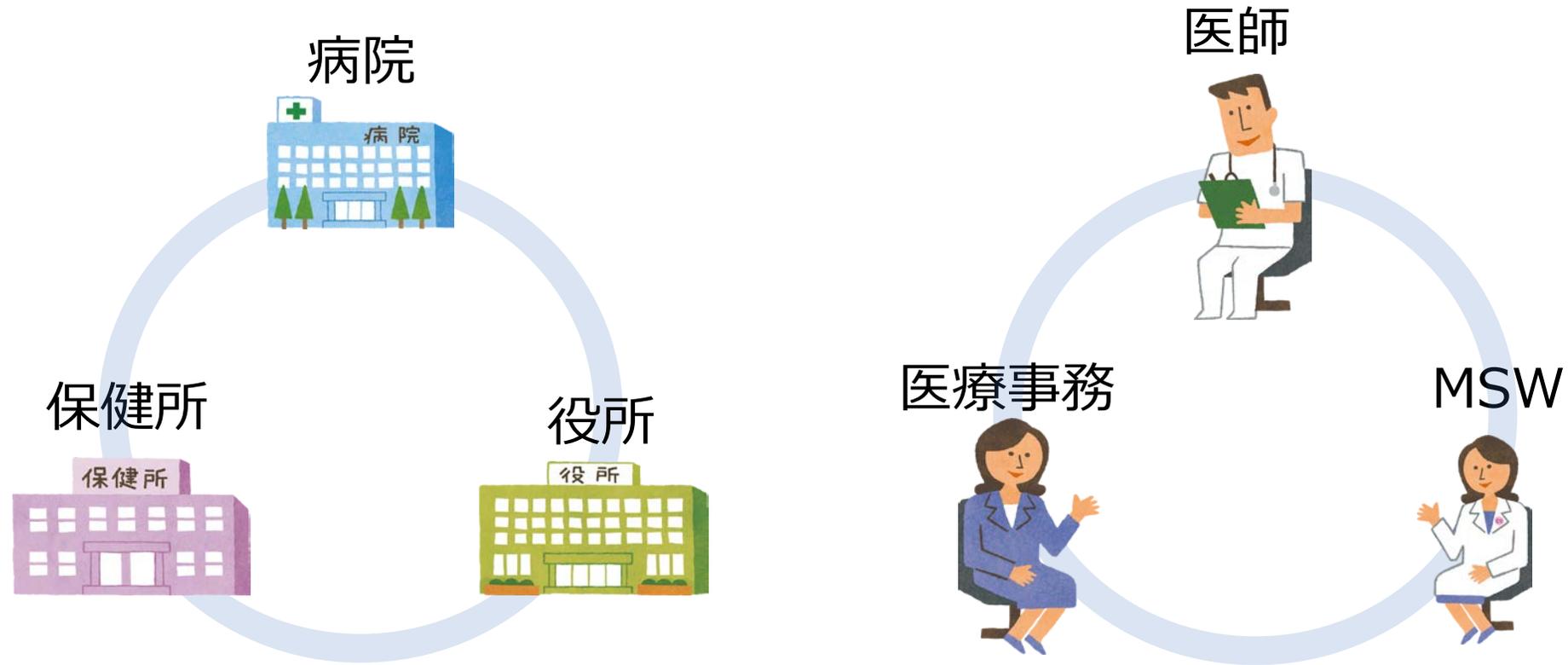


※都道府県からの実績報告を基に、令和6年9月1日現在で集計。患者から都道府県への償還請求の時期等により実績値は変動する可能性がある。

令和6年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会の資料より

山形県は、全国的に見ても「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の認定者数が少く、この制度の周知と活用の促進が課題となっています。

# 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業 実施に必要な連携体制



「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」を実施するには、病院、役所、保健所の連携が重要です。病院内では、医師、医療ソーシャルワーカー（MSW）、医事課が協力して取り組むことが求められます。

それぞれが同じレベルで制度を理解し、患者さんがスムーズに申請できる体制づくりを進めていくことが必要です。

# 山形県の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の勉強会

## 第1回山形県肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業に関する病院間連絡会

日時：令和6年12月10日（火）15:00～17:00

会場：山形医学交流会館（医学部内）現地開催

参加施設：山形県庁、山形大学医学部附属病院、山形県立中央病院、日本海総合病院、公立置賜総合病院、山形市立病院済生館、山形済生病院、山形県立新庄病院、米沢市立病院、村山保健所、置賜保健所、庄内保健所、最上保健所

参加者：医師、医事課、医療ソーシャルワーカー、山形県庁職員、保健所職員

### セッション1

#### 肝がん・重度肝硬変治療にかかる医療費助成の適応疾患について

山形大学医学部附属病院 肝疾患相談室室長 芳賀弘明

#### 肝がん・重度肝硬変治療促進事業の概要について

山形県健康福祉部健康福祉企画課 感染症対策主査 石澤めぐみ

### セッション2

#### 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業院内フロー作成への取り組みと運用

山形大学医学部附属病院 社会福祉士 鈴木佳代子

山形大学医学部附属病院 社会福祉士 佐藤幸紀

山形県健康福祉部健康福祉企画課 感染症対策主査 石澤めぐみ

#### 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業にかかる当院での運用フローについて

日本海総合病院 医事課 主任医療福祉相談員 佐藤望



基幹病院の医師、医療ソーシャルワーカー、医事課職員、山形県庁職員、各地区保健所職員が集まり、勉強会を実施しました。

## 患者側から見た申請手続きの流れ

1. 医療機関から制度の紹介を受ける
2. 制度利用を希望し、医療機関から制度の詳細説明を受ける
3. 同意書に署名する
4. 添付書類を準備する
5. 保健所へ申請する
6. 参加者証・医療記録票を受領
7. 参加者証・医療記録票を持って医療機関を受診する
8. 通院の場合、償還払いを保健所へ請求する  
(入院の場合は償還払いでなく現物給付)



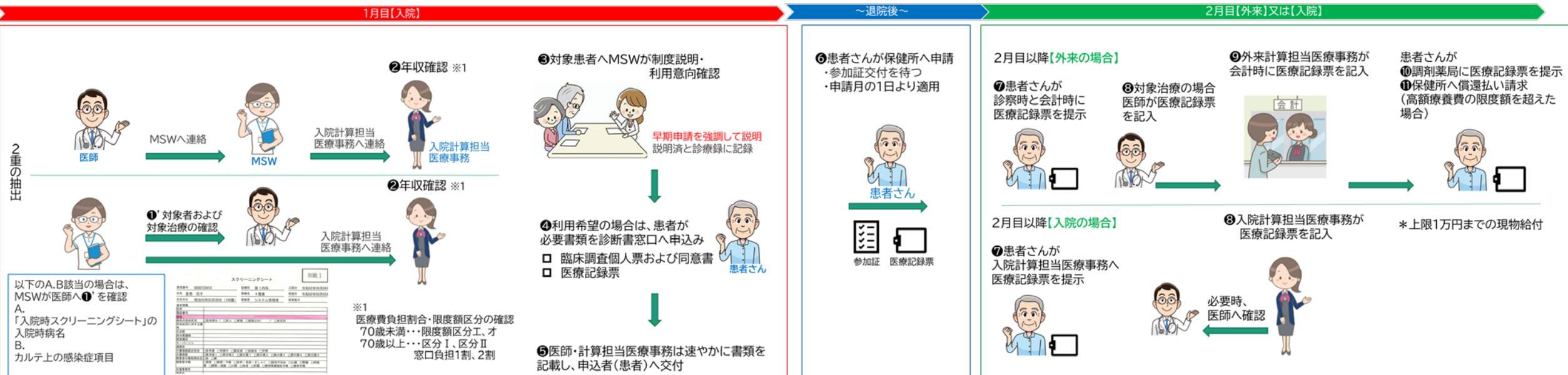
## 医療機関側から見た申請手続きの流れ

1. 対象患者を抽出
2. 患者へ制度の説明
3. 臨床調査個人票および医療記録票を作成
4. 作成した書類を患者へ渡し、保健所へ申請を促す
5. 保健所申請後、患者へ参加者証が発行
6. 外来受診時に医師が医療記録票へ診療内容を記入
7. 会計時に外来計算担当が医療記録票へ支払金額等を記入
8. 必要時、調剤薬局で調剤内容・支払額を医療記録票へ記入

解説内容の工夫として、患者側と医療機関側それぞれの立場から申請手続きの流れを分けて説明し、手続きの具体的な進め方を理解できるようにしました。

# 当院の肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の取り組み

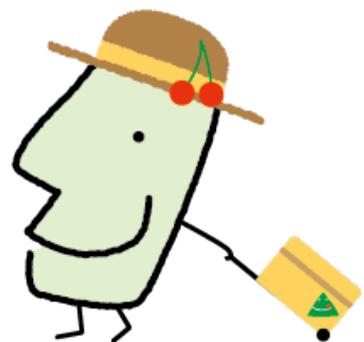
## 山形大学医学部附属病院での「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」のフローチャート



当院では、「肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業」の対象患者の抽出は、医師と医療ソーシャルワーカー(MSW)による二重チェック体制で行い、見落としの防止に努めています。

# 今後の取り組み

1. ハイブリッド形式で参加施設を拡大し、勉強会を開催する
2. 肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の指定医療機関（現在18施設）の増加を図る



ご清聴ありがとうございました

